



【巻頭グラビア】

緑陰の流れ

NATURE IN THE GLASS

ENJOY DOOA

ADA Review

「BIOみずくさの森 クリプトコリネ&ラゲナンドラ図鑑」

MAKE & KEEP

「パワーサンド・ベーシック&パワーサンド・アドバンス」

みずくさFOCUS / Plant Art Studio

Amano考「大雨の後の手づかみ漁」

NATURE IN THE GLASS

「緑陰の流れ」

Yusuke Homma

AQUA JOURNAL vol.271

CONTENTS

- 02 NATURE IN THE GLASS 「緑陰の流れ」
- 10 ADA Review 「BIOみずくさの森 クリプトコリネ&ラゲナンドラ図鑑」
- 14 ENJOY DOOA
- 18 MAKE & KEEP #06 「パワーサンド・ベーシック&パワーサンド・アドバンス」
- 20 みずくさ FOCUS 第6回 「アポノゲトン 現る」
Plant Art Studio #06
- 22 Amano 考 「ガラスの中の大自然」
第6回 「大雨の後の手づかみ漁」

クリプトコリネとシダがつくる緑陰をバックに泳ぐラスボラの一群。東南アジアの河川をイメージさせる水景。

©AQUA DESIGN AMANO



©AQUA DESIGN AMANO

NATURE IN THE GLASS

ブランチウツのラインと テープ状の葉で流れを表現した 三角構図のレイアウト

このレイアウトは特徴的な形のブランチウツを用い、前後平行に配置することで三角構図の骨格としている。ブランチウツは根元を万天石で固定することで、枝がイメージしたラインを描くように角度を調整した。この流木のラインによって左から右へと流れる構図を表現するため、手前に配置したブランチウツの枝にはウィローモスをあまり巻きつけずに地肌を露出させている。また、奥のほうを暗くして奥行き感を出すために、後ろに配置したブランチウツにはウィローモスを多めに巻きつけた。背景左側には長いテープ状の葉を持つクリプトコリネを植栽し、その葉を右側になびかせることで、流木の構図骨格で表現した流れをより明確なものとしている。

DATA

撮影日 2017年8月1日 (ADA)
 制作 本間 裕介 (レイアウト制作・文)
 水槽 W180×D60×H60 (cm)
 照明 ソーラー RGB×3基 1日10時間点灯
 ろ過 スーパージェットフィルター ES-2400 (バイオリオ)
 底床 アクアソイル-アマゾン、パワーサンド・アドバンスL、バクター100、クリアスパー、トルマリンBC
 CO₂ バレングラス・ビートル500、CO₂ビートルカウンターで1秒に3滴 (タワー使用)
 AIR リリイパイプP-6によるエアレーション 夜間消灯時14時間
 添加剤 プライティK、グリーンプライティ・ミネラル
 換水 1週間に1度 1/3
 水質 水温24℃ pH:6.4 TH:20mg/L

水草	クリプトコリネ・バランサエ クリプトコリネ・スピラリス クリプトコリネ・スピラリスタイガー クリプトコリネ・ウエンティ (ブラウン) クリプトコリネ・ウエンティ (グリーン) クリプトコリネ・ルーケンス クリプトコリネ・アクセルロディ エキノドルス・ヒュームリー コブラグラス ボルビティス・ヒュテロツティ ウィローモス	<i>Cryptocoryne balansae</i> <i>Cryptocoryne spiralis</i> <i>Cryptocoryne spiralis tiger</i> <i>Cryptocoryne wendtii</i> (Brown) <i>Cryptocoryne wendtii</i> (Green) <i>Cryptocoryne lucens</i> <i>Cryptocoryne axelrodi</i> <i>Ranalsma humile</i> <i>Lilaeopsis novae-zelandiae</i> <i>Bolbitis heudelotii</i> <i>Fontinalis antipyretica</i>
魚種	ラスボラ・ヘテロモルファ サイアミーズ・フライングフォックス オトシンクルス ヤマトヌマエビ	<i>Trigonostigma heteromorpha</i> <i>Crossocheilus oblongus</i> <i>Otocinclus</i> sp. <i>Caridina multidentata</i>

ブランチウッドと万天石を組み合わせた三角構図とクリプトコリネを主体とした構成

クリプトコリネの仲間はバリエーションに富んでいるため、前景、中景、背景それぞれのポジションで活躍してくれます。特に流木の陰になりやすい中景での使用に向く種類が多く、流木に寄り添うように植栽すると野生味あふれ落ち着いた様子を醸し出します。ここではそうした雰囲気表現するために、野趣ある水草と一緒に組み合わせレイアウトを構成しています。



1 枝の所々にウィローモスを巻き付けた流木で左から右への流れを意識して三角構図を組む。

2 メインとなる流木は株の切り口も大きいので、正面から見えないように配置。切り口付近にもウィローモスを付け、できるだけ難を隠した。



3 流木の枝を受け止めるように石を配置。こうした表現を各所に設けることで自然感が高まる。



4 多分岐しているブランチウッドは、枝が混み合ったり、重なり合わないよう微調整を行う。



5 流木の配置が終わった時点で、背景部には盛土を行った。クリプトコリネの植栽を予定しているため、その根張りを考えると底床は十分な厚さが必要となる。



水景
構図

©AQUA DESIGN AMANO



6 竹ひこを使って水草の配植スペースを決め、そのバランスを確認していく。



8 流木に寄り添うようにクリプトコリネを丁寧に植栽。BIOみずくさの森のクリプトコリネの株は小さいため、生長後の最終的な大きさを考慮して配植することが大切。



9 クリプトコリネ・バラサエは、植栽前に株の長さや大きさに仕分けておいた。こうした手間を加えることで、レイアウトの構成に合わせた的確な植栽が行えるようになる。



7 柄の長いプロピンセットを使うと、手の届きにくいスペースでも植栽作業が容易になる。



10 テープ状の水草は次の植栽スペースとなる部分が隠れない方向に葉を倒しながら植栽していくとよい。

クリプトコリネが 時間とともに作り上げる レイアウト表現

クリプトコリネをメインとしたこのレイアウトでは、時間の経過が水景をつくり上げていきます。密生感が出るまでには時間がかかりますが、その分だけ深みのある雰囲気を楽しめるのがこの水景の魅力と言えるでしょう。セット初期には流木や石の印象が強かったものの、クリプトコリネの生長によってその印象もしたいに弱まりバランスの取れた景観が生まれました。



シダの仲間のボルビティスは、陰生水草であるクリプトコリネとは相性もよく、組み合わせやすい。幽玄な雰囲気が水景に漂う。

流木の枝先とたなびくクリプトコリネの葉の様子がシンクロするように見えて面白い。



テープ状のクリプトコリネとして、Cry. バランサエとCry. スピラリスを混載している。



水景
植栽

典型的な三角構図で安定感があり、左から右に向かう3本の枝先が水景の流れを感じさせる効果を与えている。また、手前の流木にのせた石は、浮力を抑えるために一時的に置いたもの。



水景
完成

©AQUA DESIGN AMANO



陰生水草であるクリプトコリネは、流木の陰になるような所でも活躍してくれる。



佗び寂びにも通ずるディテール表現。下草のコブラグラスが密生してこそこの小さな景観。



クリプトコリネを背景に泳ぐラスボラの群れ。どちらも原産地が同じ東南アジアだけにしっくりとなじむ。



ひらけた空間の下草には、あえて明るい葉色のエキノドルス・ヒュームリーを植栽し変化を持たせている。



BIOみずくさの森なら
 クリプトコリネやラゲナンドラも
 扱いやすく楽しめる

今回紹介するのは前ページの水景でもメインに使用されていたクリプトコリネとその近縁種でもあるラゲナンドラです。カップの中の組織培養で育った状態では子株ながらも、サトイモ科の難点でもある葉が溶けることもなく状態が安定しているため、従来のポット入りのモノに比べ扱いやすく、水槽導入後も比較的スムーズに水中葉を展開します。クリプトコリネやラゲナンドラはどちらかと言えば玄人好みの水草と言えますが、いったん環境に適応した株は丈夫でしかも草姿の維持にも手間がかかりません。そのため長期間の管理については、むしろ容易と言えるでしょう。ただし、

根から栄養素を盛んに吸収するタイプの水草であるため、定期的に底床用固形栄養素であるボトムラスを底床に打ち込んで追肥を行うことが必要です。またクリプトコリネ生育のトラブルとしては、急激な生育環境の変化などにより葉が溶けてしまうことがありますが、そうした場合でも溶けた葉を丁寧に吸い出してあげれば、やがて新葉を展開するようになるため慌てる必要はありません。なおラゲナンドラはクリプトコリネに比べ、そうしたデリケートな要素が少なく、最近になって多くのバリエーションが紹介されるようになった注目の水草です。



BIO クリプトコリネ・ウェンティ (グリーン)

十分な光量が得られると葉色は茶褐色に変化し、低光量では緑色の葉を展開します。水質などの急な変化によって葉を溶かしてしまうことがありますが、環境に適応することで新しい葉を展開していきます。草丈は大きなもので20~30cmになり、中景草として流木の陰などで使用すると雰囲気もよくおすすめです。総じてクリプトコリネは養分要求量が多いため、ボトムラスでの追肥は重要。



BIO クリプトコリネ・ウェンティ (ブラウン)

落ち着いた茶色で照りのある葉が特徴的で、十分な光量やCO₂、栄養素によってこの種本来の渋みのある美しさを楽しむことができます。レイアウトでは中景草として使用におすすめですが、この茶色が落ち着いたアクセントになるような使い方をしたいところです。また組織培養の株は小型化していますが、最終的な大きさを見極めて植栽プランを考えることが大切。



BIO クリプトコリネ・ウェンティ (グリーン ゲッコウ)

Cry.ウェンティ (グリーン)よりも明るいライトグリーンの葉が特徴的です。光量が十分な環境下では、そのライトグリーンが美しく映え、赤茶色の葉脈が目を引きまします。草丈は10~15cmになるものもあり、中景草としての使用に向いています。またトリミングによって草姿のコントロールも可能なため、レイアウトによって調整してみましょう。



BIO クリプトコリネ・ウェンティ (ミオヤ)

暗めの緑~茶褐色の葉色で、葉縁が若干ウェーブするのが特徴です。Cry.ウェンティの中では大型になりやすく草丈は20cmを超えるものもあり、十分なCO₂や底床用固形栄養素の添加によって大きな葉を展開します。水上および水中での管理も可能であり、環境による草姿の変化を楽しむことができます。一度環境に適応した個体は、水質の変化にも対応できるようになります。



BIO クリプトコリネ・ウェンティ (トロピカ)

茎が赤く色づき、赤褐色の葉を展開するクリプトコリネで、葉の凹凸がよく現れるのが特徴的です。他のクリプトコリネより比較的育成が容易な種類であり、低光量、低CO₂といった条件でも育てることが可能です。草丈は10~15cmで、中景草としての使用が向いており、美しい照葉を見せてくれます。



BIO クリプトコリネ・アクセルロディア

緑~赤褐色の葉を展開させるクリプトコリネの一つ。水質によって色合いを微妙に変化させ、レイアウトの中で変化を楽しむことができます。緩やかな生長速度でロゼット型の葉を展開するため、前~中景草の緊き目や流木際などに配植することで自然感を出すことができます。

ここで紹介するクリプトコリネとラゲナンドラは葉姿も似ており、どちらもサイトイモ科の水草です。その葉姿は独特な美しさを見せ、まさに水草レイアウト向けの逸材とも言えます。そのため今後は人気も高まりそうです。

※販売時のBIOみずくさの森はカップ入りです。



BIO MIZUKUSA NO MORI

「BIOみずくさの森 クリプトコリネ&ラゲナンドラ図鑑」

おなじみのクリプトコリネに
新たにラゲナンドラが加わり
楽しみはますます広がる



BIO クリプトコリネ・バランサエ

凹凸の葉が特徴的な細葉のクリプトコリネです。生育環境によって茶色から緑色までの葉色の変化が見られます。水槽導入時に葉が溶けてしまうことがあります。環境に適応することで新しい葉が展開し、その後は状態も安定し管理は容易になります。草丈は良質な環境下では50cm以上になるため、レイアウトでは大型水槽の背景草として使うのがおすすめです。



BIO クリプトコリネ・スピラリス（レッド）

テープ状の細葉を展開するクリプトコリネです。環境によって葉の縁に若干のウェーブがかかり、赤褐色を帯びた葉を展開します。草丈は30cm以上と長くなるため、背景草として使用されることがほとんどです。また細葉のためレイアウトでは、ある程度まとめて植栽します。十分な光量と底床への追肥で丈夫な個体を育てることができます。



BIO クリプトコリネ・ルーケンス

葉の縁に細い赤茶色が入るのが特徴的で、光量や栄養条件によって濃緑から鮮やかな緑までの葉色の変化を見ることができます。大きい個体でも10cm前後のため、レイアウトでは前～中景での使用がおすすめです。環境に適応した個体は丈夫で扱いやすい種類ですが、真新しい材を使った水槽セット初期や移植後は葉が溶けやすいので注意が必要です。



BIO ラゲナンドラ・ケラレンシス

水中では大きな細めの葉を展開するラゲナンドラの一つで水上での管理も可能な強健種。葉色は鮮やかな緑というよりは渋みのある落ち着いた緑色です。生長速度は緩やかで、草丈があるため中～背景でのワンポイント的な使い方が向いています。ラゲナンドラの仲間、クリプトコリネのように葉がすべて溶けてしまうようなノスはほとんどなく扱いやすいと言えます。



BIO ラゲナンドラ・ミーボルディ（グリーン）

緑色の広葉を展開するラゲナンドラの一つです。丈夫な種類で、水上および水中のどちらの条件下でも育成が可能です。他のラゲナンドラ同様、レイアウトでは中景草での使用がおすすめですが、クリプトコリネのようにトリミングでの草姿の調節は難しいので植栽位置には気をつけましょう。BIOみずくさの森でリリースが開始され、今後はラゲナンドラの仲間も人気が高まっていきそう。



BIO ラゲナンドラ・ミーボルディ（レッド）

Lag.ミーボルディ（グリーン）と比べて赤みを帯びた葉を展開し、Lag.ケラレンシスよりも少し小柄な草姿であり、中景草としての使用がおすすめです。その葉姿は玄人好み。クリプトコリネとは異なり、根茎から直接子株をつけるため、株分けの際には留意する必要があります。生長速度はクリプトコリネよりも緩やかで、長期間に渡り景観維持もしやすい。

アクアソイル-アマゾン

腐植土由来の有機栄養素を豊富に供給し、水草が根を張る場所となる。

クリプトコリネとラゲナンドラは、透明な寒天培地に根を張る様子からもわかるように子株ながらも比較的太くてしっかりとした根をしています。これは根から栄養素を多く吸収するタイプの水草であることを示しており、長期間健康に生育するためには栄養豊富で微生物の働きが活発な底床づくりが欠かせません。その助けとなるのがリニューアルしたばかりのパワーサンド・アドバンスを基礎としたバクター100、クリアスーパー、トルマリンBCそしてアクアソイル-アマゾンと併用した万全な底床システムです。



トルマリンBC
土壌改善に効果のある、トルマリンと竹炭が底床環境を整える。

クリアスーパー
底床内の汚れを吸着し、微生物の餌となる。

バクター 100
各種微生物が含まれ底床環境に応じた微生物群を形成する。

パワーサンド・アドバンス
底部の硬化、目詰まりを防ぎ、微生物の発生源にもなる。



DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.

流木と有茎草で システムアクア 30に 魚のすみかを表現

フィルター一体型のシステムアクア 30でレイアウトに使える空間はW30×D20×H30 (cm)ほどで、この空間をいかに広く見せるかがレイアウトづくりのポイントとなる。そこで今回のレイアウトでは、まず水槽の中央付近から右手前のほうに枝が突き出すようにブランチウッドを配置した。こうすることでオーバーハングした流木の下に空間が確保でき、魚たちが潜むすみかのようなイメージが表現できる。また、水上に突き出した流木の枝先で空間の広がり 연출し、背景右側に設けた空間と手前の流木との対比で奥行感を演出している。水草は葉の細かい有茎草が多く含まれる侘び草を選んで配置している。

ソルススタンドG ■
ソルススタンドG水槽固定パーツ ■
システムアクア 30 ■
ベーススタンド35 ■
CO₂カウントディフューザー ■
NAコントロールタイマーII ■
トロピカルリバーソイル ■

【水草】

侘び草 有茎草MIX

侘び草 かれん

侘び草 パールグラス

ラージ・パールグラス

リシア

ウィローモス

【魚種】

グッピー

ゴールデン・ハニードワーフグラミー

ナノストムス・トリファスキアータス

サイアミーズ・フライングフォックス

オトシンクルス

ヤマトヌマエビ

2017年12月18日 撮影 (ADA)
レイアウト制作・文 本間 裕介
©AQUA DESIGN AMANO





流木の下に確保された空間は魚たちの格好のすみか。レイアウトを工夫することで魚に適した環境ができる。

©AQUA DESIGN AMANO

システムアクア 30などの小型水槽では 佗び草を効果的に用いるのがポイント

これは小型水槽全般に言えることですが、基本的に葉が大きくなる水草よりも葉が細かい水草のほうがレイアウトに適しています。ただし、葉の細かい水草は茎や根も細く、植栽には繊細なテクニックが求められます。そんな繊細な水草の植栽も、佗び草を使えば底床に置くだけで簡単です。このレイアウトでは佗び草を効果的に用いています。



背景左側の茂みには佗び草 有茎草MIXを使用。ピンセットでは難しい有茎草の密植も、佗び草なら置くだけで簡単に密生感のある茂みをつくることできる。



空間を確保したい背景右側には、小ぶりの佗び草 かれんや佗び草 パールグラスなどを使用。手前に配置した流木との対比で奥行き感を演出している。



前景にはウィローモスとリシアを巻きつけた石を配置。川底の雰囲気演出するため、底床に敷いたトロピカルリバーソイルをあえて露出させている。

Enjoy DOOA | Yusuke Homma



DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and designed as a platform to enjoy storage to create plants rooms. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.

MAKE & KEEP

6

新しくなったパワーサンドで
栄養素と微生物が豊富な
水草育成に適した底床づくり

ADA NATURE AQUARIUM GOODS

POWER SAND BASIC-S

パワーサンド・ベーシック



ベーシック S

手軽に使える底床用栄養素。栄養素が控えめな分、初心者でも扱いやすい。60cm水槽に適した2L入りのほかに、小型水槽に適した1L入りも新たにラインナップ（パワーサンド・ベーシックはSのみ）。

手軽に使えるパワーサンド・ベーシックと 栄養豊富なパワーサンド・アドバンス

ネイチャーアクアリウム底床では、パワーサンドとパワーサンド・スペシャルが長らく使用されてきましたが、今回のリニューアルによってパワーサンドはより手軽に使えるパワーサンド・ベーシックに、パワーサンド・スペシャルはより栄養豊富なパワーサンド・アドバンスにそれぞれ進化しました。パワーサンド・シリーズに共通する基本的な特徴は、ベースとなる多孔質の天然素材に土壌微生物の増殖を促す有機栄養素と水草の根から吸収される緩効性の無機栄養素を配合していることです。新しいパワーサンド・

ADA NATURE AQUARIUM GOODS

POWER SAND ADVANCE

パワーサンド・アドバンス



L



M



S

本格的な水草レイアウトに最適な底床用栄養素。水槽の水深によって使い分けるS（2L入り）、M（6L入り）、L（6L入り）の3種類をラインナップ。水深36cmの60cm水槽にはSが対応。

ベーシックでは、パワーサンドの栄養素はそのままに微生物をいち早く発生させるバクター100とクリアスーパが追加されているため、アクアソイル・シリーズと組み合わせることで手軽に水草育成に適した底床をつくることができます。また、新しいパワーサンド・アドバンスでは、有機栄養素と無機栄養素を従来のパワーサンド・スペシャルよりもさらに強化するとともに、これまで配合されていたバクター100とクリアスーパに加えてリン酸を含むBCパウダー（竹炭粉）を新たに配合することで、より栄養豊富な底床がつけられるようになりました。性格の異なるパワーサンド・ベーシックとパワーサンド・アドバンスの特徴を生かした2パターンの底床づくりを、右のページで紹介します。

メイク&キープ

このコーナーでは、ネイチャーアクアリウムやアクアテラリウムのレイアウトをつくり（メイク）、維持する（キープ）うえで役立つノウハウや製品情報を毎号紹介していきます。今回はこの春リニューアルしたパワーサンド・シリーズを使用し、60cm水槽と小型水槽での底床づくりを紹介します。ぜひ新しいレイアウトでお試しください。

パターン①

パワーサンド・ベーシックで手軽な小型水槽の底床づくり



パワーサンド・ベーシックSをW36×D22×H26 (cm) 水槽に敷く。小型水槽には1L入りが最適。



サンドフラッターで平らにならす。バクター100とクリアスーパは製品に配合されている。



最後にアクアソイル-アマゾニアを3L敷き、傾斜をつけておけば手軽な底床づくりは完了。

パターン②

パワーサンド・アドバンスで完璧な60cm水槽の底床づくり



水槽にパワーサンド・アドバンスSを敷く。W60×D30×H36 (cm) 水槽に2Lが使用量の目安。



製品にも配合されているが、より長期維持に適した底床をつくるためにバクター100を追加。



同様にクリアスーパも追加。バクター100とクリアスーパは付属のスプーンで3杯が適量。



底床環境を整える動きのトルマリンBCを追加。トルマリンBCは付属のスプーンで10杯が適量。



アクアソイル-アマゾニアを敷き、傾斜をつけておけば。60cm水槽での使用量の目安は9L。



最後に底床の表面にグリーンブライティ・ニトロをスプレーすると水草の生長がさらに加速する。

みずくさの森も発売から3年が経ちました。今ではその種類も60種以上に増えました。今回はそのみずくさの森から近日発売予定のニューフェースを紹介します。

「アポノゲトン現る」

アポノゲトンと聞いて頭に浮かぶのは、網目状の葉が美しいレースプラントを思い浮かべる人も多いのではないでしょうか。その見た目と同じように生育もとても繊細な植物です。そのため、みずくさの森のラインナップに加えるにあたり、培養条件も他水草とは同じというわけにはいきませんでした。そして、たどり着いた完成形

がこちらです。水草の栄養源となる培地の上部、草体の部分を液体にすることで、繊細な葉を持つアポノゲトンでも、負荷なく生育することができるようになりました。さらにカップからパウチ状の容器にすることで培地の崩れや液体がもれないようにしました。今まではちょっと違うみずくさの森、近日発売予定です。



「アポノゲトン・マダガスカリエンシス」
網目状の葉が美しいアポノゲトン。葉は幅広く横に広がって生長します。



「アポノゲトン・ロンギブルムロス」
細葉で葉の縁が波打つタイプのアポノゲトン。葉は上に向かって伸びていきます。

Plant Art Studio

プラント アート スタジオ



Vallisneria asiatica var. biswaensis

06

春いろ、ウェーブ、生命力。

写真／本間 裕介



1992年に出版された天野尚
水草レイアウト作品集「ガラス
の中の大自然」で天野が綴った
のエッセイを再掲載しています。
ネイチャーアクアリウム作品の
バックボーンとなる天野尚なら
では自然観や経験に触れる
ことができます。

考

[Amano-ko]
ガラスの中の大自然

「大雨の後の手づかみ漁」 写真・文/天野尚



水が張られた越後平野の田圃に朝日が輝く。(2011年 春)

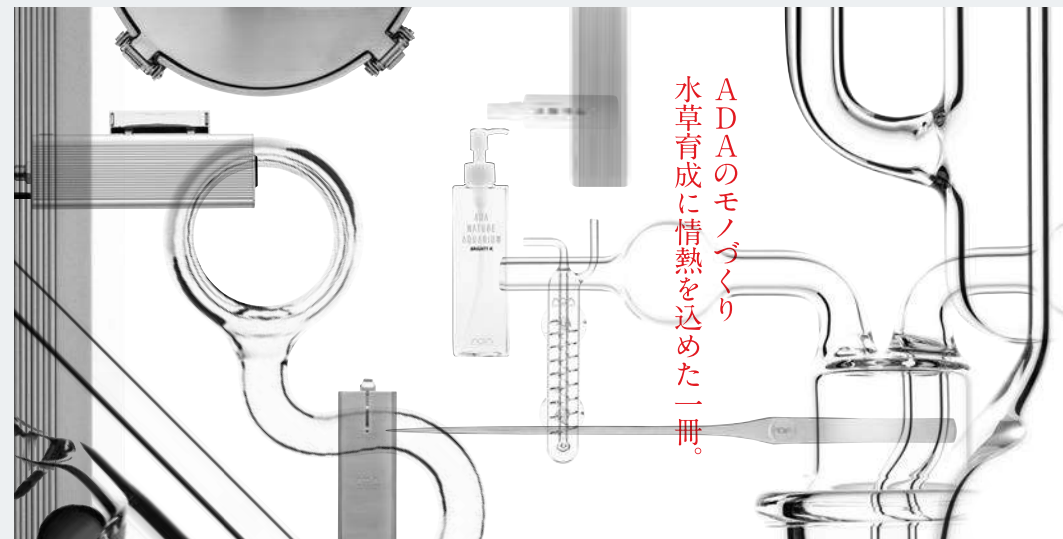
4月の中頃になると、越後平野一面に水が張られ大洪水の様相を見せる。これは田植前の代掻きという作業のために、田に水を入れ耕運機で耕す。私は子供の頃からこの季節が好きで、田に水が入ると朝日が昇る前に近くの山に登り、越後連峰から昇った太陽が鏡のような平野を黄金色に染める瞬間を眺めたものだ。この季節は早春のはかなさと違い、春爛漫の味わいがあるところもいい。雪国に生きる農家の人たちにとっては、春が来て田植が始まる頃は1年のうちで最も幸せを感じる季節である。おそらくこの感情は雪の降らない地方に住む人々にはとうてい理解できないかも知れない。その1ヵ月後には、あたり一面、淡い緑の草原に生まれ変わってしまうのだが、私の古い思い出はこの季節から若干さかのぼり、稲が最も急速に生育する梅雨時、6月中旬の頃合のこと。昔は今のよう^{さいどう}に隧道や排水機がなかったせいもあって、大雨が降るとたちまち堤防が決壊し田畑は水に浸かった。4月の代掻きの水と違ってほんとうの洪水なのだから、農家の人たちはたまったものではないが、子供の頃の私たちはこのような大雨

が降るとわくわくするのだ。大雨が降り川の水が氾濫し始めると、川や池に潜んでいた尺物のフナやコイが一斉に産卵に動き出す。その行動たるや実に無防備で、あれほど神経質で警戒心の強かった魚とは思えない行動をとるのである。信じられないかも知れないが、大物のフナやコイが道路で手づかみで捕まるのだから面白い。学校の帰り道にどこかフナを拾って帰ったという話はよくあったし、こんなエピソードもあった。大雨の日授業をしていたらグラウンドが見る見る水浸しになり、そのうちにフナやコイ、ウナギやナマズまでが池とまちがえて入り込んできた。最初ソワソワしていた生徒たちも、1人がたまたまくなって教室から飛び出してしまうことから、堰を切ったように学校中の生徒、先生までがグラウンドにくり出し大騒動になったという。これは我が母校の話であるが、残念ながら私たちの時代からさらに10年ほど前にさかのぼった頃のことだ。中学時代、数学の老教師が大雨が降ると決まって話されたのでよく憶えている。先生はよほどこの体験は鮮烈な思い出として残っていたのだろう。

1992年出版 天野尚 水草レイアウト作品集「ガラスの中の大自然」
(マリン企画)より

※本誌編集にあたり写真は変更して掲載しています。

INFORMATION



ADAのモノづくり
水草育成に情熱を込めた一冊。

MADE IN ADA

Concept & Products

現在発売しているADAの主要製品の特長を、開発にまつわるエピソードなどを交えながら丁寧に紹介。個性的なそれぞれの製品がADAの歴史と水草育成への情熱を物語っています。カタログ的要素も含む本書は、ADAのモノづくりを理解するため最良の一冊です。

定価/本体1,000円+税 言語/日本語 サイズ/W185×H250mm 本文/212ページ

NEXT AQUA JOURNAL

**THE INTERNATIONAL
AQUATIC PLANTS LAYOUT
CONTEST 2018**

JUNE.2018 vol.272

2018年5月10日(木) 発売

アクアジャーナルの情報は一部、
ADAホームページで公開しています。

オンラインエントリー受付中
04.01.START → iaplc.com
オンライン応募・詳細は公式ウェブサイトから。

NEXT AQUA JOURNAL

JUNE.2018 vol.272

2018年5月10日(木) 発売

アクアジャーナルの情報は一部、
ADAホームページで公開しています。

STAFF CREDIT

Editor
大岩 剛 Tsuyoshi Oiwa
阿部 正敏 Masatoshi Abe
本間 裕介 Yusuke Homma
佐藤 正浩 Masahiro Sato

Art Direction
NATURE AD DESIGN

Design
丸山 悟司 Satoshi Maruyama
市川 亮 Ryo Ichikawa
石井 このみ Konomi Ishii

Publisher
天野 しのぶ Shinobu Amano
Published by
株式会社 アクアデザインアマノ
Printed by
株式会社山田写真製版所

■本誌に掲載されている写真・記事の無断転載を禁じます。
■ADA編集部では、本誌へのご意見、ご感想をお待ちしております。
またご意見等は、葉書、封書、メールなどでお寄せください。
©2018 AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.
Printed in JAPAN

〒953-0054 新潟県新潟市西蒲区漆山8554-1
ADAサービスセンター/0256-72-1994 (平日10:30~17:30)

株式会社アクアデザインアマノ
<http://www.adana.co.jp>





ADA NATURE AQUARIUM GOODS NEW POWER SAND

新生パワーサンド登場

ADA NATURE AQUARIUM GOODS

POWER SAND BASIC-S



手軽な
基本系

栄養
豊富



ADA NATURE AQUARIUM GOODS

POWER SAND ADVANCE

